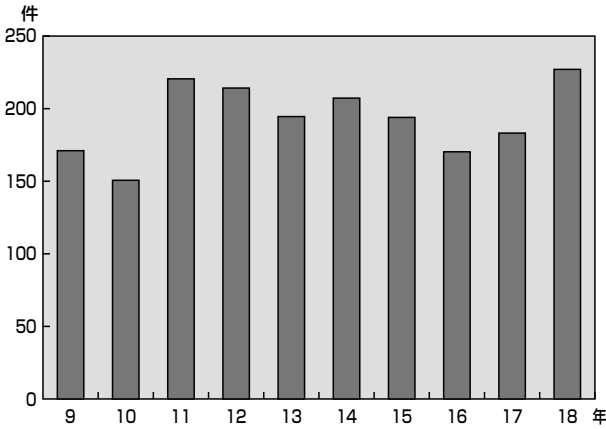


図①

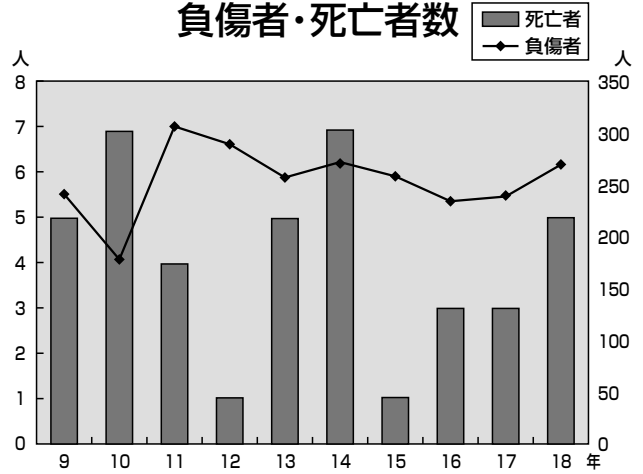
南丹市における交通事故の推移

(京都府警察本部 調べ)

交通事故発生件数



負傷者・死亡者数



数三百九人を記録しました。また平成十八年には発生件数二百三十二件、負傷者数二百六十九人と交通事故発生件数が増えています。(図①)

死亡事故については、過去十年間で一番多いのが、平成十年、平成十四年の七人で、一番少ないのが、平成十二年、平成十五年の一人です。年平均、四・一人の死者数で、昨年までの十年間でゼロを記録したことはありませんが、交通安全に向けた取り組みの成果が出てきていると思われる。

●**交通事故ゼロを目指す**

「南丹市交通安全計画」では、交通事故による負傷者を平成二十二年までに百五十人以下、また、死者数を限りなくゼロにすることを目指しています。

特に、被害者やその家族だけでなく、加害者にとってもその人生に多大な影響を及ぼす交通死亡事故は絶対に起こしてはいけません。

昨年は、痛ましいことに、当市管内で五人の尊い命が交通事故により失われ、二度の

交通死亡事故多発警報を発令しました。今年に入ってから、幸いなことに交通事故による死者はありません(六月一日現在)が、市では関係機関との連携により、絶対に交通事故による犠牲者を出さないという強い意志の下、交通安全の取り組みを進めていきます。

●南丹市交通安全計画の目標と取り組み(抜粋)

■本計画における目標

交通事故による負傷者をなくし、市民を交通事故の脅威から守ることが究極の目標ですが、年間の負傷者数を平成二十二年までに百五十人以下とすることを目指しています。

交通安全秩序の維持

シートベルトおよびヘルメットの着用の徹底、交通弱者保護の推進、飲酒運転の根絶、暴走運転の根絶

救助・救急活動の充実

また、交通事故による死亡者数を限りなくゼロに近づけることを目指しています。

救助・救急体制の整備、救助・救急に関する教育の充実

道路交通環境の整備

安全・安心な道路を整備、公共交通機関利用の促進、災害に備えた道路交通環境の整備

損害賠償の適正化をはじめとした被害者支援の推進

無保険(無共済)車両対策の徹底、交通事故相談所の活用、自動車事故被害者等に対する援助措置の充実

交通安全思想の普及徹底

幼児から高齢者に至るま